

## フンボルトペンギンの保全活動

海響館は、2010(平成22)年3月1日のペンギン村オープンに合わせ、野生のフンボルトペンギンの生息地、南米チリの国立サンチアゴ・メトロポリタン公園との間に、互いの協力の下、チリでのフンボルトペンギン飼育下繁殖を支援し、ペンギン生息地での研究と保全に貢献していくことを約束する国際協定を締結しました。特別保護区での飼育・繁殖技術をメトロポリタン動物園に反映させ、しいてはフンボルトペンギンの保護にも資することを目的とすることから、チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園より「生息域外重要繁殖地」の指定を受けています。海響館はペンギン会議\*と連携・協力し、近い将来フンボルトペンギンの新たな血統を日本に導入し、日本国内の動物園水族館におけるフンボルトペンギンの遺伝的多様性の維持に寄与すること、そして長期に渡る飼育・繁殖技術の開発および支援の実現を目指しています。



### ※ペンギン会議とは？

野生のペンギンの研究・保護活動の支援や、ペンギン飼育技術者間および飼育技術者と研究者との情報交換・交流などの活動を行っているNGO団体です。

## 生物の繁殖・育成に関する取り組み

野生生物の生息域内外における保全には、それぞれの種がどのような生息環境に棲み、どのような繁殖環境で子孫を残していくのかを把握することが重要となります。そして、それには地道な調査・研究が必要です。海響館では水環境に生息する生き物の保全に関し積極的な取り組みを行っており、中でも飼育生物を用いての調査・研究が可能であるという水族館の特性を活かし、生物の繁殖・育成に関して力を注いでおります。

具体的には、ペンギン類やバンドウイルカ、スナメリについて、血液検査や超音波検査による繁殖生理の研究と合わせ、オスからの精液採取の技術や精液保存技術の確立に取り組み、最終的には人工繁殖の成功を目指しています。また、フンボルトペンギンの生息地では、雨によって巣が浸水したり流されたりすることで繁殖率が低下しているとの報告があることから、ペンギン村フンボルトペンギン特別保護区では生息地を再現し、現地で抱える問題点の解決となる技術開発に努めています。さらに、ニホンアワサングの生息域外保全として、水族館内での育成研究にも取り組んでおります。

海響館は、これらの取り組みで得た知見や技術を、野生下での生物の保全に役立てることを目指しています。



スナメリの採血



イルカの超音波検査



ペンギンの精子の観察



フンボルトペンギン特別保護区



ニホンアワサングのブラマラ幼生\*の採取



ブラマラ幼生の着生用プレート

### ※ブラマラ幼生とは？

サンゴが卵から育って間もない状態のことで、体中にある繊毛を使って泳ぐことができます。

市立しものせき水族館「海響館」では、

海洋生物の環境保全のため、

海の生き物の調査・研究を常に行っています。

当館が実施している調査・研究を

広く一般に広めて行く事は、

未来の地球、そして人類のために

有益であると考えています。

海洋生物に対する

質問・疑問等に関しては、

当館の展示部スタッフが

万全の態勢でお応え致します。

質問・疑問等に関しては、

市立しものせき水族館「海響館」

展示部

TEL.083-228-1100

### アクセス

JR下関駅よりバスで約7分／JR新下関駅よりバスで約30分。中国自動車道下関ICより車で約15分／門司港桟橋より船で約5分 ※駐車場：周辺有料駐車場をご利用ください。



（営業時間）9:30~17:30《年中無休》

〒750-0036 下関市あるかぼーと6番1号

☎083-228-1100

http://www.kaikyokan.com

✉ info@kaikyokan.com

入館料	大人	小	幼児(3歳以上)
一般	2000円	900円	400円
団体	1700円	700円	300円

●団体は、20名様以上が対象です。  
●団体申込書はホームページよりダウンロードできます。  
●修学旅行(学芸目的団体)の入館料はホームページまたはお問い合わせください。  
※平成25年2月1日現在

●動物取扱業/公益財団法人下関海洋科学アカデミー下関市立しものせき水族館 下関市あるかぼーと6番1号 ●登録番号/41900269(2) ●登録年月日・有効期限/平成24年5月31日~平成29年5月30日 ●取扱責任者/和田 政士



## 海洋生物保全活動の取り組み



水の世界を  
旅しよう